

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業			評価者	市民活動部観光商工課担当課長 小澤 圭介	
市民-15 観光運営事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務		主管課	観光商工課	
			関連課		
総合計画上の位置付け	分野	観光	施策の方針	地域が一体となった観光振興の推進	

1 事業の目的

対象	観光客等
意図	「住んでよかった、訪れてよかった」まちづくりに取り組むため。また、他の自治体と連携し、広域的な観光客誘致を行うため。
効果	観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感の高揚が図られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

2 平成27年度に実施した事業の概要

神奈川県観光協会などの関係団体、協議会と連携し、誘客キャンペーンやパンフレットの作成などの広域観光宣伝や情報交換等を行った。 第2期鎌倉市観光基本計画の推進及び進行管理を行った。 第3期鎌倉市観光基本計画を策定した。 観光施策の推進に必要な経費に充てるため、寄附金による収入確保を図った。
--

3 事業費等基礎データ

データ 人口等の データ	データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
	人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
	事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	6,797	4,768	当初予算(千円)	6,465	
	国県支出金			国県支出金		
	地方債			地方債		
	その他			その他		
	一般財源	6,797	4,768	一般財源	6,465	
	人員配置数	1.4	1.3	人員配置数	1.8	
	人 件 費(千円)	10,702	10,505	人 件 費(千円)	15,116	
事業経費運営	総事業費(千円)	17,499	15,273	総事業費(千円)	21,581	
	市民1人当りの 経費(円)	99	86	市民1人当りの 経費(円)	122	
	対象者1人当りの 経費(円)			対象者1人当りの 経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 受益者負担導入
		△-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 観光基本計画推進委員会における市民委員
事業内容の方向性	☒ a: 事業内容を見直す ☐ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ その他
	見直し内容	見直し内容
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由
総評(評価に対する考え方、根拠等)	H28年度においてはH27年度と同様の取組を行う予定であることから、予算規模は現状維持とします。 各種協議会等を通じて観光推進を図りつつ、各種協議会負担金については、引き続き効果や必要性について検証が必要。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	第3期鎌倉市観光基本計画を策定する。 各種協議会負担金については、引き続き、その効果や必要性について検証していく。		
課題解決のために行った平成27年度の取組	新たに設置した鎌倉市観光基本計画推進委員会等の会議体において調査・審議や意見交換等を行い、第3期鎌倉市観光基本計画を策定した。		☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	第3期鎌倉市観光基本計画の推進に向けて、観光基本計画推進委員会において計画の評価及び進行管理に関する調査・審議等を行うとともに、当計画に基づく取組実施体制を早期に構築し、市が主導的役割を担って、各実施主体の役割分担や実施スケジュールについて記載した実施計画(アクションプラン)を策定する。 引き続き、各種協議会負担金の使用方法、効果、必要性について検証していく。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	入込観光客数等(平成26年) (単位:千人)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市	横浜市
他市実績	21,960	17,738	2,627	7,075	4,514	7,847	800	5,707	44,258
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	県内全市町村対象に行う入込観光客数調査において、鎌倉市は横浜市に次ぐ延観光客が訪れており、観光案内所利用者も相対的に他市町に比べ多いことが伺える。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉に来る前の期待に対する満足度(来訪者アンケート+WEBアンケート)					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。	目標値	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%		85.0%		
	実績値	79.2%	79.5%							
	達成率	93.2%	93.5%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☒ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--